学校番号	２０２

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
副読本	「高校生のための音楽　Music Note」　（啓隆社）						
副教材等	「バイエル１００番」						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「キーボードを演奏すること」「基礎的な音楽知識を身に付けること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・進路に必要な知識や技能を身に付け、生涯続けられる仕事の支えとなる資格取得を助けます。
・子どもと共に音楽を楽しめるようなコミュニケーション力や仲間作りができることをめざしてもらいます。

２ 学習の到達目標

幼児教育に必要な歌唱・演奏の技能を取得し、子どもと共に音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、読譜や音楽の知識を身に付けている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	基礎的な歌唱技術を身に付けよう	【歌唱】 コールユーブングン コンコーネ50番 唱歌 「ふるさと」 「夏の思い出」など	○	○	○		a:初見視唱や弾き歌いに必要な読譜や階名唱などの学習、歌唱訓練に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノ演奏の基礎	【器楽】 バイエル100番	○		○		a:ピアノ演奏の技術に関心をもち、読譜の訓練や演奏の練習に主体的に取り組もうとしている。 c:ピアノ譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【弾き歌い】 かっこう めだかの学校		○			b:弾き歌いするための基礎的な伴奏技術や、素直な発声で歌い、子どもに歌の魅力を伝える表現意図をもっている。	観察 演奏の聴取
	ピアノ演奏の歴史	【鑑賞】 バロックから 古典派まで	○			○	a:チェンバロに始まるピアノの演奏の歴史に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:時代と共に演奏・作曲者により発展してきたピアノ音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	美しい発声・発音で表現しよう	【歌唱】 「ヴォカリーズ」 イタリア歌曲 「泣かせておいてください」	○	○	○		a:イタリア語や母音のみによる自然な発声や発音に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「泣かせておいてください」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、時代的な演奏の特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	ピアノ演奏の発表会をしよう	【器楽】 バイエル100番 ブルグミュラー、ソナチネ	○	○	○	○	a:ピアノの演奏技術を高め、練習・演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:人前で発表するための演奏態度やマナーを考え、発表会に臨むイメージを持っている。 c:ピアノ譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 d:それぞれの技術に応じた曲を発表し、互いに聴きあうことで、練習の意欲にフィードバックする。。	観察 演奏の聴取
	ピアノ演奏の歴史	【鑑賞】 ロマン派から現代	○			○	a:現代につながるピアノ演奏の発展に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、時代や国民性によるそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考え、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	ピアノで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 あわてんぼうのサンタクロース 1年生になったら	○	○	○		a:ピアノによる弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:それぞれの技能に応じた伴奏の形態を工夫し、素直な発声で歌う表現のイメージを持っている。 c:弾き語りするために必要なピアノや歌唱の基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	卒業の歌を歌おう	【歌唱】 校歌 道 旅立ちの日に　など 卒業生の歌	○		○		a:卒業式で歌う練習とともにハーモニーを作る学習に主体的に取り組もうとしている。 c:ハーモニーを感じながら歌う音感や、発声・発音の技術が身に付き、協力して曲を歌うコミュニケーション力が身についている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
　　c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。